

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

児童一人一人のすぐれた個性を伸ばし、知・得・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、規則や規範を大切にすることを育成する。

(2) 経営方針〈弥富市学校教育基本方針をふまえて〉

一人一人が輝き、自己有用感・自尊感情に満ちた笑顔いっぱいの児童を育て、元気・やる気・思いやりのある学校を創造する。

① めざす学校像

- ・ 子ども一人一人が認められ、大切にされる学校
- ・ 分かる授業が展開され、分かる喜びを味わうことのできる学校
- ・ 教育環境が整った、安全・安心な学校
- ・ 家庭や地域社会との連携を密にし、地域に信頼される学校

② めざす教師像

- ・ 子供・保護者・地域に対して、常に丁寧な指導、丁寧な対応を心がける教師
- ・ 子ども・保護者の心に寄り添うことのできる教師
- ・ 子ども一人一人に確かな学力をつけることのできる教師
- ・ 落ち着いた学習環境・生活環境づくりに努める教師
- ・ 家庭や地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりに努める教師

③ めざす子ども像

- ・ 思いやりの心を持ち、誰にでも優しく温かく接することのできる児童 やさしく
- ・ 自ら学び、かしこく創造力豊かな児童 かしこく
- ・ 進んで体を鍛え、たくましく、がんばり抜く児童 たくましく

(3) 本年度の重点努力目標

ア 学習指導の充実

- ・ 学習規律を意識させ、落ち着きと集中力のある授業を展開する。
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- ・ TT 指導を積極的に取り入れ、個に応じたきめ細かい指導の充実を図る。
- ・ アクティブラーニングを取り入れた学び合いの授業や ICT 機器を有効活用した授業を推進し、分かりやすい授業実践に努める。
- ・ 外国語指導のより一層の充実に努める。

イ 教師の授業力・教師力の向上

- ・ 各種研修会等への積極的な参加、授業研究や校内研修の実施により、指導力の向上を図る。
- ・ 学校内外の識者による研修を通じて、楽しく分かりやすい授業づくりや居心地の良い学級づくりに努める。

ウ 豊かな心の育成

- ・ 児童の人格を尊重し、その言動を共感的に受け止め、心のふれあいを大切にする。
- ・ 「あいさつと返事の励行」「はき物をそろえること」「時間を守ること」を教師が率先垂範し、日常生活の中で意識させる。
- ・ 教師が、常に丁寧な言葉づかいを心がけることにより、正しい言語環境を整える。
- ・ 人権教育をよりいっそう推進し、心豊かで優しく、人を思いやることのできる児童を育成する。

- ・ 発達段階に応じた心の教育を実施したり、いじめアンケートやQ-U調査等を活用したりして、温かい人間関係づくりに努め、いじめや問題行動を未然に防止する。
- ・ 心を開いて大きな声で歌を歌うことができる児童を育てる。
- ・ スクールカウンセラーや心の相談員、家庭教育コーディネーター等を積極的に活用し、教育相談を充実する。

エ 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教育に関して、校内教育支援委員会における情報交換や特別支援学校教員、識者による研修等を通じて、全職員がより一層見識を深める。
- ・ 交流学級において、児童相互が温かい交流を図ることができるよう、担任どうし互いに細やかな配慮を心がける。
- ・ 通常学級に在籍する、特別な支援を要する児童一人一人の教育ニーズを把握し、適切な教育的支援を行う。

オ 体力の向上

- ・ 教育活動全体を通して、計画的・効果的な計画のもとに、基礎的な体力の向上、健康保持・増進に努める。

カ 安全・安心な学校づくり

- ・ 学校・家庭・地域が連携して、実践に即した、より実効性のある避難訓練や防災学習を行い、防災意識を高め、安全に行動することができる力を育てる。
- ・ 不審者対応訓練や防犯教室の開催等を通じて、危険に対する認識を深めるとともにその対応を学ばせる。

キ 開かれた学校づくり

- ・ 学校だより、道徳通信、学年だより、学級通信などの各種通信、ウェブページ等を通して、学校の現状や児童の活動の様子を広く発信する。
- ・ ゲストティーチャー、スクールガード、桜小人材バンク等、地域の教育力の活用を積極的に推進する。

ク 多忙化の解消

- ・ 教師の中の「子どものためであればどんな長時間勤務も良しとする」という意識を改革しながら、より効果的で持続可能な教育活動を展開していく。
- ・ 行事や諸会議の精選、会議の効率化、校務支援システムの効果的活用により、多忙化解消に努める。
- ・ 定時退校日の設定、年次休暇の取得促進等により、職員の健康保持増進に配慮する。